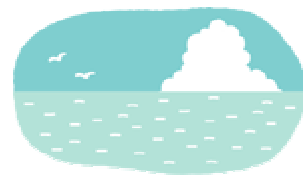


## 日本の原風景＝山陽小野田市へ

## スケッチ・観光・グルメの旅



### 参加者募集

山陽小野田市は、山口県の西部にあって瀬戸内海に面した工業と農業、漁業のまちです。まちの中を大小の川が流れ、まち並みの中にも田んぼが散見されて、日本の原風景とも言える佇まいが随所に見られる日本のふるさとです。

このたび、古くからの当会会員であり、山陽小野田市の市長夫人でもある白井佳子さんからお誘いいただきました。

またとない機会です。すでに9名の方から口頭で参加したいとの申し出をいただいております。会員の皆様、一緒に行きましょう！ご参加お待ちしております。



#### 1、旅行日程(予定)

10月20日(土) 新山口駅に 10:00集合	(移動は全て貸切バス) 新山口＝秋芳洞＝秋吉台(昼食)＝下関：火の山公園＝食道楽 帆万里(夕食：海の幸)＝いこいの村「江汐」(天然温泉：宿泊)
10月21日(日) 新山口駅で解散	(移動は全て貸切バス) 「江汐」＝小野田橋・浜五挺唐樋＝太平洋セメント山手倶楽部(見 学・昼食)＝刈屋漁港＝きららガラス未来館＝本山岬＝小野田駅 ＝新山口

注意：集合・解散は新幹線「新山口」駅です。

「新山口」駅への往復は各自で手配していただきます。(往)新大阪発7:58＝新神戸発8:11＝新山口着9:59。(復)時間未定。(往復約26,000円)

参考：◇いこいの村「江汐」⇒森林公園内の湖に面した高台にある一般旅館並みの公共の宿です。

◇浜五挺唐樋⇒小野田市は、市街地の95%がかつて海だったという干拓のまちです。その汐止めの樋門です。

◇火の山公園⇒頂上から、関門海峡(源平の壇ノ浦の古戦場)・門司・下関の港を行き交う大小の船、巖流島(武蔵・小次郎決闘地)などが手に取るように見えます。

#### 2、参加費用(新幹線往復交通費を除く)

いこいの村「江汐」：1泊朝食付き約7,000円。夕食代・バス代として約10,000円程度。

#### 3、参加申し込み

8月末までに、電話またはFAXで 越智 強さん まで申し込んでください。

TEL & FAX: 0798-64-7931

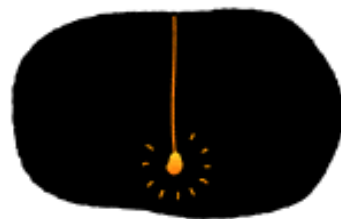
(口頭で申し出られた方も、改めて申し込みをしていただきますようお願いします。)

## ～お知らせ～

- **大藤さん, いってらっしゃい!** 🚗 🚝 🚘

大藤さんが柔術交流で8月11日～18日まで  
バルセロナへ行かれるそうです。

詳しい報告は九月号にて。お楽しみに！



大藤さん、気をつけて行ってきてくださいね。

---

### 9月11日(火)に定例会があります

場所 フレンテ西宮4階

時間 AM 10:00～12:00

---

## フランス語サークルからのお知らせ 🍎 🍓

♪ フランス語サークルからのメッセージをお届けします ♪

月一回、和気あいあいとサロン形式でレッスンしています。

先生は、お母さまがフランス人、お父様が日本人の関学4回生の赤川良樹さんです。

先月は、私たちの『Quoi de neuf !』から話題を広げて下さり、盛り上がりました。

(時々、日本語でね!)あとの時間は、文法のプリントで学習しました。

いつもながら、先生は、やさしくて丁寧です。

どんなにたどたどしいフランス語でも、にこやかに根気よく聞いて下さいます。

「こんなレッスン気になるな～」、「フランス語やってみたいけどわざわざスクールに入るのもな～」

と思っておられるあなた、ぜひぜひ、一度見学にいらして下さい。

こちらの方から、詳しい日程などをお知らせ致します。

\*8月はお休み、9月もまだ詳しい日程は決まっていないようですが、

興味のある方は榎尾さんに連絡してみてください。



連絡先

榎尾 裕美子さん 0797-72-5639 [français@jttk.zaq.ne.jp](mailto:français@jttk.zaq.ne.jp)

## 国際的現代美術家松谷武判さんとの交流会が開かれました(7/19)



\* 交流会にて記念撮影 \*



\* 松谷武判さん \*

西宮市出身の国際的現代美術家：松谷武判さんがこのたび帰国され、急遽7月19日15時から役員・絵画部のメンバーとの交流会が開かれました。交流会は大谷美術館の「緑爽庵」で行われ、13名の会員が参加しました。

松谷さんは、9月16日から2ヶ月間アジャン市内のギャラリーで個展を開かれます。個展開催にあたっては、マリーさんが尽力されました。



### 🐱 松谷画伯との交流会に参加して 🐱

(絵画部 大西浩子さんより)

交流会に参加させていただく前は、松谷画伯に対して、現代美術の旗手、前衛の方というイメージを持っておりまして、「ちょっとこわい人かなあ〜」と恐る恐る参加させていただきました。ところが私達の目の前に現れたのは、そのイメージを打ち砕く、頭をフランス風にカットし、まん丸い眼鏡をかけ、物腰も柔らかく、スカッと背広を着こなされて若々しくさわやかな紳士でした。発するお声も話し方も人を引き込んでいく魅力にあふれた方でした。参加者一同松谷画伯のかざらないお人柄とそのお話に吸い込まれたようにあっという間に交流会が終わりました。

私は、7月28日の「MATSUTANI I (マツタニ アン)」の上映とトーク会にも参加させていただきました。会場は、150名以上の参加者でうまり、立見の方もいる位ぎっしりで松谷画伯の人気の程がうかがえました。そこでは、ずっと一筋の道を歩んでこられた松谷画伯の尊厳な美しさを垣間見させていただいたように思います。また、創造活動の基本である「人の真似をせず、自分のオリジナリティーを出すこと」についても再確認させていただいた機会でもあったと思います。

このような交流会を企画して下さった西宮市やロット・エ・ガロンヌ交流市民の会の皆様方のご尽力に感謝いたしております。

益々、「西宮」を愛せそうです。

## 🐱 松谷武判さんプロフィール 🐱

1937年、大阪市に生まれ。吉原治良(よしはら じろう)に師事し、前衛美術団体「具体美術協会」に参加した。

1966年に渡仏し、パリと西宮・甲風園の自宅とを行き来しながら国際的に活躍。近年は鉛筆で画面を黒く塗りつぶした一連の作品が高く評価されている。

流れ 時の流れ、何時始まって何時終わるのか 凡そ想像のつかないこの流れの中  
ひとつの視覚形態として造形してみた。

果たして時を止めることがこの作画上の行為にできたかどうか  
時は留まることなく流れる

2004.1 松谷武判



フランスは文化に対して大きな比重をおき 人間 それぞれの生き方を尊重する。特に芸術には深い敬意を国民ははらってくれる。この様な場で 人間とは 芸術とは 思考を巡らし、具体美術で培った

『人の真似をするな、誰もせんことをやれ』を教訓に、私しか出来ない自己表現を視覚化するのに 四十年は長い様で短くもある。…一筋の光2007年は 在フランス41年間の作家生活の歩みと共に混沌とした今の時代に一筋の光を絶やさない願いでもある。 2007.7 松谷武判画伯の手記より

## 広報部から

7月22日、15時より広報部会を開きました。今後会報の編集に携わる廣田・池本・飯村・佐藤・大藤・池田さんの6人が集まりました。(山崎さんはPTA活動多忙のため来年3月まで編集お休み。)

広報部のメンバーの皆さんに初めてお会いし、今後の会報の作り方や内容についてなど、色々な話が出来、とても有意義な時間だったと思います。その時に話し合ったことを活かして、これからももっと皆様に楽しんでいただけるような会報作りが出来たらいいなと思います。 <廣田記>

### \* 編集後記 \*

最近この会に入りました、廣田紗緒里です。現在関西学院大学の法科大学院に通っています。出身は静岡県で、大学時代は京都で過ごしました。ピアノと大学時代に習っていた能が好きです(観るのも舞うのも謡うのも! )。

この会に興味をもったきっかけは、卒業旅行でパリに行ってから、フランスが大好きになったからです。(もともとフランスにとっても興味があったのですが、大好きになったのは卒業旅行からでしょうか。)フランスは音楽が街の色々なところにあふれていて、そんなところが好きです。教会の鐘の音も好きでした。ご飯もお菓子もおいしくて大好きです。ダルトニアンも好きです。

初めての会報作りで至らない点も多いことと思いますが、これからも頑張っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

P.4

